

## あま市立甚目寺南中学校

< 5月31日, 7月27日 校内研修会 >



名古屋学芸大学教授 三浦浩子先生をお招きして、「生徒の心にとどく道徳教育を願って」というテーマで全職員を対象に2回の校内研修会を行いました。

「道徳教育とは、生徒と教師がともに考え、自分の価値観を高めていくものである。生徒のすることには、全て理由があり、表意（目に見える、耳に聞こえる）から含意（感情、気持ち）をさぐる、傾聴力を高めるため『無条件の肯定』で生徒を見る『教師の心の窓』を再確認することが必要である。」と教えていただきました。

< 6月5日 保護者学級 全校一斉 道徳公開授業 >

名古屋学芸大学教授三浦浩子先生をお招きして、1年生道徳「ばなしの女王返上!」、3年生道徳「問題を解決してみよう～無人島脱出ゲーム～」等の公開授業を参観していただきました。

先生からは、「『～すべき道徳』から『～である道徳』にしていく必要がある。『無理だな』と思うことが可能になるような指導が大切である。」といった指導者としての心構えについて指導・助言をいただきました。

< 6月10日, 14日, 15日, 17日, 24日, 7月1日 参観授業 >

名古屋学芸大学教授三浦浩子先生をお招きして、各学級の道徳の授業を合計6回参観していただき、ご指導をいただきました。先生からは、

- ① 学びのルールを徹底し、活動の節を大切にすること
- ② 1対1×33の関係で授業展開すること
- ③ 授業中の生徒のつぶやきを敏感にひろい、授業展開に生かしていくこと

など、道徳の授業を展開する上での基本姿勢をご助言いただきました。

2学期には、理科、音楽科の講師の先生をお招きし、授業実践をしていく予定です。

